

第58号

発行者
コイケモクザイグループ
小池木材（株）
小池商事（株）
ラミネート・ラボ（株）
トヤマハウジング（協）



テーマ

木を愛し
木に親しみ
木をもって
社会に貢献しよう

●誠意
●情熱
●工夫

大転換期に向けて

理事長 小池善樹

はじめに

現在、私達を取り巻く環境は大きく変化しており、企業も個人も先行きを見通せない大転換期を迎えているのではないのでしょうか。日本の人口は、戦後の上昇曲線と同じ曲線を描いて2010年をピークに下降しています。しかし、高齢者人口は2040年迄増加し、先進国の中でも例を見ない急激な少子高齢化に直面しています。そして、第4次産業革命と言われるここ数年のIT進歩は凄まじく、10数年で今ある職業の40数パーセントが無くなるとも言われています。このような急激な変化は、当然世の中の仕組みや今まで常識と思われていたことが大きく変わることであり、企業が継続していくには当然この変化に対応していかなければなりません。

●小池木材グループ変化の歴史

当社は創業147年の歴史を持つています。その全ての歴史を体験した訳では有りませんが、私が入社した昭和50年代は、木材部・集成材部・建材部の3部門が富山市木場町の本社事務所で席をならべ、それぞれの部門が売上を競っていました。その後、様々な組織変更がありました。今では木材・

建材を一括で扱う流通部門が富山市木場町の小池木材（株）に集約、主に造作用集成材を作っていた集成材部は大断面製造&木工事を主体とする富山市草島のラミネート・ラボ（株）に変わり、そして新たにエ

ンドユーザーを対象にした住宅部門の設立と組織は大きく変化してまいりました。その間、様々な成功もありましたが、それ以上に様々な失敗も繰り返してきました。しかし、その失敗を乗り越える知恵と努力こそが変化に対する力の源泉であり、コイケモクザイグループの大事な伝統であり、現在の礎となっているのです。

●働き方改革とチームワーク

今、世の中では「働き方改革」が叫ばれています。私は、働き方改革とは「みんなで活気のある職場を作る」ことこそが最終目標だと思っています。働き方改革は手段にすぎないのです。そうした中、当社では今年①意識付け（マイホリデー制度、ノー残業日の制定）②スキルアップ（研修、セミナー、資格）③効率化（AI・IOT・RPAの導入、改善提案）に分類して取り組みを開始しました。とは言え、「働き方改革」は大変難しい業務改革です。まずは職場環境

を改善する為に、個々が諦めるのではなく問題意識を持ち、改善していく為に組織内でキャッチボールしながら問題点を共有し意見を出し合っていかなければなりません。それを何度も繰り返すことにより一番大事な信頼関係が生まれ、「一人がみんなの為にみんなが目標の為に」というチームワークが構築されていきます。チームワークこそ、「働き方改革」を成功させる大事な要素だと思います。

●コミュニケーションの重要性

今年の6月にグループ会社社員が参加した2泊3日の大阪旅行に行きました。「ユニバーサルスタジオジャパン」の会場を借りてのパーティーでは、敢えて違ったグループ会社のメンバーでテーブルを囲み、交流を図りました。

その1週間後に大きな地震が大阪を襲いました。阪神淡路大震災を思い出した方も多いと思います。私もある記事を思い出しました。それは「祭」に関する記事です。23年前の震災で多数の死者が出たなかで、その日の内に救出できた地域とできなかった地域があり、その差について理由を聞かれた自治体の幹部は、「簡単です。その地域に（昔からの）祭りがあつたか、否かです」と答えたそうです。本来「まつり」は人々が参加して神を祀ることとされていたのが、時代の変化の中で観て楽し

●大転換の時代に臨んで

冒頭にも書きましたが、今日本はかつてない時代の転換期にたっています。建設業においては、2020年のオリンピック需要後は、現在の住宅着工数90万戸時代から60万戸時代に入るといわれています。そうした時代の流れの中で、コイケモクザイグループは失敗を恐れず変化に果敢に挑戦し、チームワークを大事にする社員と共に、充実した仕事環境を目指したいと思えます。更に、昭和50年代に同じ事務所で共有できた一体感を、活動地拠点が数ヶ所に分かれた現在においても共有すべく、グループの連帯感を高め、総合力のコイケモクザイグループを目指したいと思えます。3年後に迫った150周年、さらにその先の時代に事業を引き継ぐべく、グループ社員一丸となつてこれからも精進したいと思えます。宜しくお願ひ申し上げます。